

令和8年度 全国学力・学習状況調査 本校の概要

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

小学校 国語

【内容】

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」

- あるテーマに沿った紹介動画を作成する際の【構成メモ】の工夫として適切なものを選択する問題については、正答率は全国平均とほぼ同程度である。

「書くこと」

- 文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する問題については、正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

「読むこと」

- ある文章を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く問題については、正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

【知識・技能】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- あるテーマに沿った紹介動画の中で、音声部分の工夫の効果として適切なものを選択する問題については、正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

- ある文章を読んで、その特徴として適切なものを選択する問題については、正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

- 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

- 文章を読んで理解したに基づいて、自分の考えをまとめること。

- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

- 話や文章の種類とその特徴について理解すること。

- 相手が知らないことについては丁寧に理由付けをしたり、相手にとって理解しやすい事例を挙げたりするなど、話の内容を十分に検討する場面を設定する。

- 「読み手にどのように読み進めてほしいか」という目的を明確にして内容のつながりや配列を考えて文章を書く学習機会を設定する。

- 文章を読んで理解したことを整理したり、自分の経験に結び付けるものを考えたりしながら、自分の考えをまとめる学習活動の充実。

- 表現の工夫には様々なものがあり、それらにどのような効果があるかを整理する。更に、その工夫を使って文章を考えたり、話したりする学習活動の充実。

- 話や文章の種類には、「紹介」や「物語」、「解説」などがある。複数の種類の文章モデルを読み比べ、その特徴を理解する学習機会を設定する。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 本校の概要

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

小学校算数

【領域】

【知識・技能】

「数と計算」

- ある5桁の数の「百の位」の数を四捨五入して、「千の位」までの概数で表したものを選択する問題については、正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

「変化と関係」

- あるものの数が全体数の□％に当たるときの全体数を求める式と答えを書く問題については、正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

「データの活用」

- 二次元の表から、問題の答えとして当てはまる数を読み取る問題については、正答率は全国平均を上回っているが、正答率が低い。

- 帯グラフから、特定の項目の割合を選択する問題については、正答率は全国平均を下回っている。

- 数を四捨五入して、概数で表すことができる。

- 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。

- 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。

- 帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができる。

- 概数を実感的に捉えられるように、数直線を用いて数を四捨五入して概数で表す活動を設定し、どの位を四捨五入すればよいかを理解できるようにする。

- $(\text{基準量}) \times (\text{割合}) = (\text{比較量})$ の言葉の式だけでなく、数直線などの図を用いて、自ら基準量、比較量、割合を書き込み、それらの数量の関係を捉えることができるような学習機会の設定。

- 二次元の表から読み取りたい項目を順序よく追ったり、読み取った数値がどのような場合であるのかを捉えたりする学習活動の充実。
また、実際に二次元の表を作成し、データを様々な観点から分類整理する活動の設定。

- グラフを基に特徴や傾向を捉える活動を設定し、「全体と部分の関係」「部分と部分の関係」が捉えやすいという帯グラフの特徴を用いて、グラフからデータの特徴や傾向を捉える学習活動の充実。